

# アゲハチョウ類の訪花について

堀 田 久

チョウと言えはすぐに花を連想するように、チョウと花とは切っても切れない関係にある。しかし、チョウの中には高度に訪花性の発達したものから、全く花に来ないものまでその訪花性には色々な段階が見られる。

チョウの中でもアゲハチョウ科は大型で人目をひきやすい上に、訪花性が高度に発達しているため昔から花との関係はよく知られている。

筆者は30年以上もチョウ類の採集や飼育を続けてきたので、これまでの観察をもとにアゲハチョウ類の訪花について述べてみたい。

なお、次にあげた吸蜜植物は、筆者自身が淡路島内において確認したものであり、( )内は花の色を示したものである。

## 1. ジャコウアゲハ

アブラナ(黄)、オカトラノオ(白)、オニユリ(橙)、カラスザンショウ(淡緑)、クサギ(白)、ツツジ類(淡紅、赤)、ノアザミ(赤紫)、ヘクソカズラ(灰白)、ヤブガラシ(緑黄)。

春型はツツジ類の花に集まっていることが多い。夏型はいろいろな花で吸蜜するが、他のアゲハ類に比較すると花に飛来することが少ないようである。

## 2. アオスジアゲハ

イボタ(白)、ウツギ(白)、スダジイ(黄)、ダイコン(白・紫)、ツツジ類(淡紅・赤)、トベラ(白)、ナワシログミ(白)、ネギ(白)、ノアザミ(赤紫)、ミカン類(白)、ヤブガラシ(緑黄)。

春型はトベラやネギの花によく集まり、夏型はヤブガラシの花に特によく集まる。

## 3. キアゲハ

オシロイバナ(白・黄・赤)、オトコエシ(白)、オニユリ(橙)、オミナエシ(黄)、カワラナデシコ(淡紅)、コスモス(白・赤・赤紫)、タンポポ(黄)、ノアザミ(赤紫)、ヒヤクニチソウ(白・黄・橙・赤)。

各種の花に集まり、特に好んで集まる花はないようである。

## 4. アゲハチョウ

アブラナ(黄)、ウツギ(白)、オニユリ(橙)、ガマズミ(白)、カラスザンショウ(淡緑)、クサギ(白)、クチナシ(白)、クレオメ(白)、ケイトウ(赤)、コスモス(白・赤)

赤紫), ジンチヨウゲ(赤紫), ダイコン(白・紫), ツツジ類(淡紅・赤), トベラ(白), ノアザミ(赤紫), ヒナゲシ(淡紅・赤), ヒャクニチソウ(白・黄・橙・赤), マリーゴールド(黄・橙), ミカン類(白), ヤブカンゾウ(橙), ヤブガラシ(緑黄), ヤマザクラ(白), リョウブ(白).

各種の花に集まる.

#### 5. モンキアゲハ

オニユリ(橙), カンナ(黄・赤), クサギ(白), サツキ(赤), スイカズラ(白), ツツジ類(淡紅・赤), トベラ(白), ネムノキ(淡紅), ハマオモト(白), ヤブガラシ(緑黄).

春型はサツキの花に特によく集まり, 夏型は, オニユリ, クサギ, ハマオモトなどによく集まっている.

#### 6. クロアゲハ

オニユリ(橙), ガマズミ(白), カラスザンショウ(淡緑), クサギ(白), ザクロ(赤), サツキ(赤), ツツジ類(淡紅・赤), トベラ(白), ネムノキ(淡紅), ノアザミ(赤紫), ヒガンバナ(赤), ヒヨドリバナ(白), ムクゲ(赤紫), ヤブカンゾウ(橙), ヤブガラシ(緑黄).

各種の花に集まるが, ツツジ・クサギ・オニユリ・ヒガンバナなどで吸蜜していることが多い.

#### 7. ナガサキアゲハ

オニユリ(橙), カンナ(黄・赤), クサギ(白), サツキ(赤), ヒガンバナ(赤), ミカン類(白)

初夏にはミカン類やサツキの花に飛来しているのを見かけるが, 個体数は多くない. 夏型は個体数が多くなり, オニユリの花に特によく集まる. この花が咲いている間は, 近くに他の花があっても飛来しない. 山地ではクサギの花に集まっていることが多い. なお, 訪花植物の種類が少ないのは, 他のアゲハ類よりも出現期間が短いと思われる.

#### 8. カラスアゲハ

オニユリ(橙), クサギ(白), ダイコン(白・紫), ツツジ類(淡紅・赤), トベラ(白), ネムノキ(淡紅), ノアザミ(赤紫), ムクゲ(赤紫), ヤブカンゾウ(橙), ヤブガラシ(緑黄).

春型はツツジ類やノアザミの花によく集まり, 夏型はオニユリやクサギの花に集まっていることが多い.

#### 9. ミヤマカラスアゲハ

ヒガンバナ(赤)。

筆者が本種を島内で採集したのは1頭だけであり、それがヒガンバナで吸蜜していた♂である。

### 台湾ウチワヤンマとウチワヤンマ混棲す

1981年8月9日～13日津名郡東浦町浦の池にて、台湾ウチワヤンマ *Ictinus p-ertinax* とウチワヤンマ *Ictinus clavatus* の♂が、池の周辺に落ちている枯枝に1mの間隔をあけて静止しているのを観察した。附近の池にも台湾ウチワヤンマが多く見られたが、ウチワヤンマは見られなかった。又、同池周辺の柳の樹液にシラホシハナムグリ *Prot-aetia brevitarsis* が多く、18♂23♀を採集した。

(田中 稔)

### 五色町でエゾスジグロシロチョウを採集

1981年10月31日に津名郡五色町広石中の紺原林道入口のミカン園の側で、本種の1♂を採集したので報告する。

これまでに淡路島では、北淡町常隆寺山<sup>①</sup>、同町江崎<sup>②</sup>、津名町佐野興隆寺<sup>③</sup>の記録があるが、五色町では初記録と思われる。

個体数は少なく、この他に本種かスジグロシロチョウか定かではないが1頭見かけただけである。県下に於て、本種は低地にも広く分布しているので、よく調査を行えば、淡路島でもまだまだ生息地が見つかるものと期待している。

<参考文献>

- ① 登日邦明(1974) 淡路島の蝶相(1) 佳香蝶26(98):9-15.
- ② 広畑政己(1980) エゾスジグロシロチョウの採集記録数例 ひろおび(5):6.
- ③ ——(1980) 淡路島の蝶類調査報告 PARNASSIUS(23):5-8.

(広畑政己)